

公益社団法人私立大学情報教育協会  
平成 25 年度第 3 回 FD 情報技術講習会運営委員会議事概要

- I. 日 時：平成 25 年 11 月 5 日(火) 10:30 から 12:30 まで  
II. 場 所：公益社団法人私立大学情報教育協会、会議室  
III. 参加者：田宮委員長、竹内委員、金子委員、及川委員、今井委員、家本委員、  
柘尾委員、渡辺アドバイザー (Skype)、山本アドバイザー  
事務局：井端事務局長、森下主幹、野本 (記)

IV. 検討事項

1. 開催要項の検討

委員からの案をもとに検討し（一部委員会後にメール等で更新を行った）、以下の内容により開催要項を取りまとめた。

- ・ 冒頭の記述では、アクティブ・ラーニング実施に踏み切れない教員に実践可能な糸口を見つけていただくことを目指すことにした。
- ・ 共通講義では、アクティブ・ラーニングに取り組む教員の姿勢・教育手法の理解を共有し、学生が能動的に学ぶ授業のための授業マネジメントや学修支援の仕組みなどについて理解を深めるために 1 つの基調講演と 2 つの授業事例を設定することにした。
- ・ 各コースは、コース概要、参加要件、事前準備、コース内容を記述することにした。
- ・ 1 つのコースは、形態性を高めるための電子書籍型教材作成コースとする意見があったが、より具体的に「タブレットを意識した電子書籍型教材作成コース」とした。作成する教材のイメージは、文字と静止画像、無料のプレゼンテーションソフト (Prezi) で作成したプレゼンテーション、短い動画などを扱い、オーサリングツールで電子書籍 (EPUB3 形式) として完成させる予定とした。3 日間の到達度は「学修を手助けするプレゼンテーション資料の作成技術を獲得する」、「教材を電子書籍化する技術を獲得する」、「各自の授業で用いる電子書籍型教材を完成させる」とした。
- ・ 2 つのコースは、PBL のような大掛かりなアクティブ・ラーニング以外の紹介の意図があるがライトという表現は割愛し、「LMS 活用コース」として、LMS を利用した学生参加型のアクティブ・ラーニングに求められる手法と LMS の活用技術の習得を目指すことにした。3 日間の到達度は「学生参加型アクティブ・ラーニングのテクニックを知る」、「学生参加型アクティブ・ラーニング実現に向けた ICT 活用技術を獲得する」、「学生参加型アクティブ・ラーニングに ICT を活用できるようにする」とした。
- ・ 3 つのコースは、グループ学修での学生の評価や支援についての意見もあったが、アクティブ・ラーニングを参加者に体験していただき、実践可能な手法を身に付けることにし、グループで PBL と TBL により進行方法、教材提示方法、思考整理方法、知識充足方法などを意見交換する中で実践可能な授業形態を見いだすことを目指すことにした。3 日間の到達度は「アクティブ・ラーニングの授業方法を探求する」、「アクティブ・ラーニングに向けた授業の実践を考える」、「設計したアクティブ・ラーニングの実践に取り組む」とした。

V. 今後のスケジュール

- ・ 次回は 1 月 30 日 13 時から開催を予定し、各コースの内容をテキストをもとにして検討することにした。